

介護ベッドによる事故

事故の概要

【事例①】ベッド用グリップの隙間に足が挟まり、床に仰向けになった状態で発見され、重傷を負った。

【事例②】ベッドの下の床で倒れているのを発見され、骨折する重傷を負った。

【事例③】ベッド用グリップの固定レバー一部に衣服の襟が引っかかり、窒息状態となって死亡した。

事故の原因

【事例①】ベッド用グリップの上の空間に左足が入り込んだものです。

【事例②】自立歩行できない要介護者に、誤って転落防止用サイドレールのない自立支援用ベッドを使用したため転落したものです。

【事例③】ベッドの下のものを拾おうとした際、逆さに転落して襟を引っかけたものです。



事故防止のために

- ◆頭や首、手足が入り込んで重傷または死亡に至るおそれがあります。
 - ・サイドレールやベッド用グリップやボードの周りのすき間を確認する。必要に応じて、すき間の小さいものに交換するか、すき間をふさいで使用してください。
 - ・ベッドとサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスの組み合わせが適合しているか確認してください。
- ◆転落等のおそれがあります。
 - ・ベッドやサイドレール、ベッド用グリップに破損・変形がないか、確実に固定されているか確認してください。
 - ・物を取るために身を乗り出したり、サイドレール等の隙間に挟まれないようベッド周辺は整頓してください。

